

郡市 医師会より

三 条 市 医 師 会

三條市医師会

副会長 馬 場 靖 幸



三條市医師会は2期目に選任された田中吉明会長の下、仲良く明るく楽しい医師会です。副会長を坪井康紀先生・馬場靖幸、理事に金谷文則・森 宏・中川 理・岩渕洋一・坂内 均・藤崎俊之・渡辺竜助・坂内優子先生、監事に中嶋俊明・宗村守先生を中心に運営しています。高齢化が進んでいた当医師会ですが、近年少しずつ世代交代・新規開業が進んでいます。昨年度から、岩田光浩・野田宗慶・吉野秀昭・嶋田修一郎・渡邊貴之・村山翔太郎・石黒竜也・吉澤和孝先生、ほか県央基幹病院をはじめとする病院医師を加え新規入会28名、令和7年5月1日現在の会員数は138名と増加、平均年齢を押し下げてくれています。

県央圏域の医療における最大の変化は、令和6年3月1日の済生会新潟県央基幹病院の開院です。遠藤直人院長の「県央地域の患者は県央で診る」の理念のもと1年が過ぎました。同院のご努力により圏域外への救急搬送は、基幹病院からの圏域外搬送を含め、令和5年度：794/3,984人（19.9%）→6年度：709/5,006人（14.2%）と救急搬送増加に対し減少しています。一方、受診者数に対し医師数不足もあり勤務医師の過労状態が続いています。済生会三條病院・三之町病院・富永草野病院ほか圏域の病院・診療所が連携して、「県央地域全体が一つの病院に」を目指して切磋琢磨しているところです。同病院開院に当たり、ご協力いただいた県医師会を始め、新潟県ほか関係機関のみなさまには、この場をお借りして御礼申し上げます。

また、平成21年4月に開院後16年目となった県央医師会応急診療所は、三條市・燕市・加茂市・見附市南蒲原郡の県央四市医師会の協力体制で運営し、受付時間を平日・休日の夜間19：00～21：30、休日9：00～16：30とし一次救急を担っています。基幹病院の負担緩和のため本年6月からは土曜日・

昼間の14：00～16：30を受付時間とし診療を再開します。コロナ禍では、発熱外来・ワクチン接種とコメディカル・行政と手を組んで対応しました。

在宅医療は、他の地域同様大きな課題となっているところです。三條市ではICT「ひめさゆりネット」を活用し、地域包括ケア総合推進センターを中心として取り組んでいます。しかし、在宅医療を担う人材が少なく、一部の医師（特に私）に負担がかかっていることが大変問題です。

そのほか、歯科医師会・薬剤師会と協力し、三師会として年1回市民公開講座を開催。市民への健康啓発に取り組んでいます。

親睦行事は、忘年会・日帰り旅行・医師会旅行・三條メディカル（ゴルフ）・麻雀大会等を開催。忘年会では、恒例となった大ビンゴ大会が行われ、この会だけ参加の先生もチラホラ……。親睦を深めています。

令和6年度医師会旅行は石川・福井へ。被災地にこそ入りませんが、皆で支援を兼ねて行って参りました。写真はこの時のものです。

新潟・長岡に囲まれた弱小地域ですが、隣接医師会と共に力を合わせて頑張っております。

